

精神科訪問看護に使えるアセスメント～GAF尺度による評価と看護モデル～

科目	章	講義内容	配信時間	講 師
1	精神科訪問看護過程の展開	制度や精神科訪問看護ステーションの現状など	約1時間	萱間 真美 氏(聖路加国際大学大学院 看護学研究科 精神看護学 教授)
		GAF尺度の記載が必要となった様式 ・精神科訪問看護記録書Ⅱ ・精神科訪問看護報告書 ・訪問看護療養費明細書		
		精神科訪問看護に活用できるモデル ・バイオ・サイコ・ソーシャルモデル ・セルフケアモデル		
		コミュニケーションのコツ		
2	GAF尺度による利用者の状態の評価方法	GAF尺度による利用者の状態の評価方法 (事例を用いた評価演習を含む)	約1時間	稲垣 中 氏(青山学院大学 教育人間科学部 教授／保健管理センター副所長)
3	事例検討	事例検討(ケースを上記モデルで展開)	約30分	萱間 真美 氏(同上) 瀬戸屋 希 氏(聖路加国際大学大学院 看護学研究科 客員研究員)
合計			約2.5時間	

※講義動画内の講師の所属等は2020年度時点のものです。